

2023年4月13日

鹿児島大学病院 で

加齢黄斑変性もしくはその前駆病変および疑い、もしくは黄斑部萎縮の治療を
受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

黄斑部の萎縮病変に関する解析

【研究の目的】

本研究では、加齢黄斑変性もしくはその前駆病変および疑い、もしくは黄斑部萎縮と診断されたかたの病像を明らかにするためのものです。黄斑部萎縮には現時点では治療法がありませんが、今後の治療開発に役立てるための研究です。

【研究の方法】

今回の研究では、カルテによる診療情報をもとに性別、生年月日、合併症、既往歴、前治療、眼科で行った検査（視力、眼圧、細隙灯顕微鏡所見、眼底所見および眼底写真、自発蛍光、光干渉断層計、眼底造影等）の結果を解析します。調査は鹿児島大学を含む多施設の共同研究で行い、該当データを匿名化し、参加

施設よりデータセンターである慶應義塾大学に提供されます。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2027年3月31日

【対象となる患者さん】

2000年4月1日から2022年9月31日までに、鹿児島大学病院眼科で加齢黄斑変性もしくはその前駆病変および疑い、もしくは黄斑部萎縮と診断され、治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別、生年月日、合併症、既往歴、前治療、眼科で行った検査（視力、眼圧、細隙灯顕微鏡所見、眼底所見および眼底写真、自発蛍光、光干渉断層計、眼底造影等）の結果を解析します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

慶應義塾大学医学部眼科学教室 篠田 肇

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 井戸 章雄

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

慶應義塾大学医学部眼科学教室 篠田 肇

聖路加国際病院眼科 永井 紀博

三重大学医学部附属病院眼科学教室 近藤 峰生

兵庫医科大学病院眼科学教室 五味 文

信州大学医学部附属病院眼科学教室 平野 隆雄

名古屋市立大学病院眼科学教室 安川 力

徳島大学病院眼科学教室 村尾 史子

神戸大学医学部附属病院眼科学教室 三木 明子

奈良県立医科大学附属病院眼科学教室 平井 宏昌

東京医療センター眼科学教室 佐々木 真理子

防衛医科大学病院眼科 播本 耕三

市立札幌病院眼科 今泉 寛子

【当院の研究責任者】

鹿児島大学病院感覚器センター眼科 寺崎 寛人

【本研究全体の研究代表者】

慶応義塾大学医学部眼科学教室 篠田 肇

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 井戸 章雄

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

※利益相反に関するお問い合わせは、臨床研究管理センター（内線 6624）へご連絡ください。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡くださ

い。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8544

(住所) 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学病院

感覚器センター眼科 講師 寺崎 寛人

099-275-5402